

## ⑫ 公開実用新案公報(U)

平2-50220

⑬ Int. Cl.<sup>5</sup>

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 平成2年(1990)4月9日

A 45 C 11/34  
A 45 D 40/00G 8508-3B  
F 8068-3B

審査請求 未請求 請求項の数 6 (全2頁)

⑮ 考案の名称 ケース体及びこれに収納する被収納用具

⑯ 実 願 昭63-128267

⑰ 出 願 昭63(1988)9月30日

⑱ 考 案 者 会 田 正 昭 東京都墨田区太平4丁目19番8号

⑲ 出 願 人 株 式 会 社 ミ ド リ 東京都墨田区太平4丁目19番8号

⑳ 代 理 人 弁 理 士 下 山 富 士 男

## ㉑ 実用新案登録請求の範囲

- (1) 各種の被収納用具が収納され非磁性材よりなる本体部及びこれと開閉自在な蓋部を具備したケース体であつて、前記本体部の底面部位に磁石体又は磁性部材からなる吸引部材又は被吸引部材を配設して成り、前記本体部の吸引部材又は被吸引部材と相互吸引し得る部材を帯有した適宜被収納用具を該本体部内に収置した際、蓋部の拡開と同時に被収納用具が本体部内にて自動起立するようにしたことを特徴とするケース体。
- (2) 前記本体部における吸引部材又は被吸引部材は、適当幅とした帯状のものから成り、これが本体部内の後壁の近傍における底面部位に横長状に配設されて成るものである請求項1記載のケース体。
- (3) 高低を問わず起立状態の様相を呈し得る形状に形成され、且つ、いずれかの部分位置に磁石体又は磁性部材からなる吸引部材又は被吸引部材と相互吸引し得る部材を配設して成ることを特徴とする被収納用具。
- (4) 前記被収納用具は、使用時状態の先端部(例えば筆記具の筆記部分等)を上方として高低を問わず起立状態の様相を呈し得る形状に形成さ

れ、且つ、使用時状態の先端部と反対の端部に磁石体又は磁性部材からなる吸引部材又は被吸引部材と相互吸引し得る部材を配設して成る請求項3記載の被収納用具。

- (5) 前記磁石体又は磁性部材からなる吸引部材又は被吸引部材と相互吸引し得る部材は、使用時状態における被収納用具の先端部、或いは、先端部及び該先端部と反対の端部の両端に配設して成る請求項3記載の被収納用具。

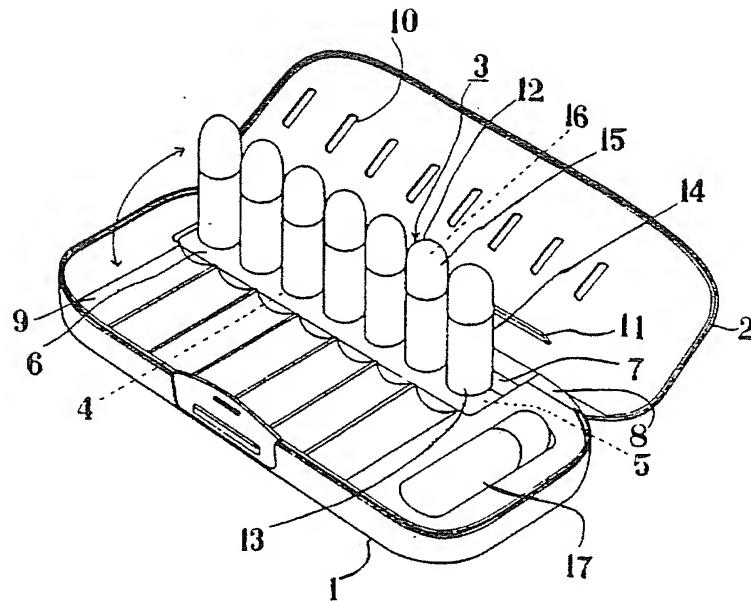
- (6) 外皮部を非磁性材にて形成した色違いの複数のシャープペン或いはサインペン等の各種筆記具、口紅等の各種化粧用具、消しゴム具、糊具等である請求項3乃至5記載の被収納用具。

## 図面の簡単な説明

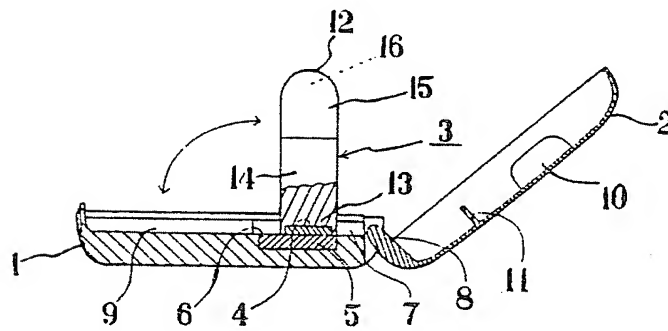
第1図は蓋部が拡開されて多数の各被収納用具が起立した状態を示す本実施例の斜視図、第2図は第1図に示すケース体及び被収納用具の縦断側面図、第3図は本考案に係る被収納用具の使用状態を示す斜視図である。

図中の主な符合、1……本体部、2……蓋部、3……被収納用具、4……磁石体又は磁性部材、5……吸引部材又は被吸引部材、6……本体部の底面、7……本体部の後壁。

第 1 図



第 2 図



第 3 図

